

# 研究実施のお知らせ

2022年2月7日 ver.1.0

## 研究課題名

超音波ガイド下膝神経ブロックの術後鎮痛効果：人工膝関節置換術における後ろ向き比較検討

## 研究の対象となる方

2021年7月から2022年1月の間に島根大学医学部附属病院で人工膝関節置換術を受けられた方

## 研究の目的・意義

人工膝関節置換術後の痛みは強いため、手術中から術後にかけての適切な鎮痛が必要です。当院では、鎮痛剤に加えていくつかの神経ブロック注射を併用して痛みが少なくなるようにしています。以前は2つの神経ブロック注射だけを行っていましたが、より鎮痛効果を良くするため、最近新しく膝神経ブロックというブロック注射を合わせて行うようになりました。ただ、この膝神経ブロックがどの程度の効果があるのかはまだ調査を重ねる必要があります。そこで、この膝神経ブロックの効果を調査したいと考えています。この新しいブロック注射の効果が判明すれば、人工膝関節置換術を受けるより多くの患者さんの術後鎮痛に役立ててもらえるのではないかと考えています。

## 研究の方法

対象になる方のカルテから以下のデータを収集します。

- 1) 患者背景：年齢、性別、身長、体重、ASA-PS (American Society of Anesthesiologists physical status)
- 2) 手術・麻酔に関する情報：手術術式、手術部位（左右）、手術時間、麻酔時間、術中麻酔薬・鎮痛剤使用量
- 3) 末梢神経ブロックに関する情報：ブロックの方法、使用した局所麻酔薬の濃度・量
- 4) 術後の情報：手術当日から2日目までの疼痛スコア、使用した鎮痛剤の種類・使用量、感覚障害の有無、運動機能、術後合併症

以上の情報を用いて、膝神経ブロックを行った方と行っていない方の中で術後の痛みの程度や鎮痛剤の使用量などを比較します。

収集したデータは、島根大学医学部麻酔科学講座の外部から用意にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。また、その対応表は収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

### 研究の期間

2022年3月（研究許可後）～2022年12月

### 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

### 研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院手術部と麻酔科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院手術部 佐倉伸一

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか特定できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院手術部 佐倉伸一  
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1  
電話 0853-20-2295 FAX 0853-20-2292